

執筆担当	所在地	畜種	キーワード
鳥取牧場 業務課	鳥取県 琴浦町	肉用牛	車両消毒、動力噴霧器、消毒 マット、消石灰帯

## 鳥取牧場における入退場時の車両消毒方法の紹介

飼養衛生管理基準において、衛生管理区域に出入りする車両や人の消毒が義務付けられています。家畜改良センター鳥取牧場では、防疫上のリスクや人員・施設の状況に応じて、以下のとおり、複数の消毒方法により入退場する車両の消毒を実施しています。

### 1. 外部の車両が出入りする箇所(防疫上のリスク高)



動力噴霧器により車両のタイヤ周辺を中心に洗浄・消毒を実施しています。飼料の搬入等、業務上、他の畜産関係施設を巡回した可能性のある車両が入場せざるを得ない場合があるため、消毒を徹底できるよう、当場職員が必ず立ち会って消毒を実施しています。また、車内のシートやペダルもアルコールで消毒し、フロアマットを衛生管理区域内専用のものに交換しています。

### 2. 当場職員のみが出入りする箇所(防疫上のリスク低)

牛舎から離れた放牧地など、構造上離れ小島となった衛生管理区域に職員が専用車両で出入りする場合には、作業効率や費用対効果を勘案し、消毒方法を選択しています。

#### (1)自動消毒装置



車両が通過するとセンサーが反応して自動で消毒液を噴射する装置を使用しています。車両を乗り降りすることなく消毒が可能ですが、比較的設置のコストが高額です。設置費用は、写真①が常設型、②が移動型で、①が約 100 万円、②が約 75 万円です。出入の頻度

が高い場所には常設型を設置するのが確実ですが、使用期間が限定される場所には移動型を使用するのも一つの方法です。

## (2) 消毒マット



マットを消毒液で濡らし(踏むと滲み出る程度)、その上を車両が通過することで、タイヤの消毒が可能です。この方法は風で飛散する心配がないため、住宅地近く等の、消毒薬の飛散に十分な配慮が必要な場所でも使用できます。また、電源や水源の必要がありません。ただし、時間が経つと乾いてしまうため、消毒液を隨時追加する必要があります。消毒効果が高まるよう、消毒薬を十分含ませ、車両をゆっくり通過させるようにしています。マットは、1枚(3m×4m)当たり約4万3000円のものを使用しています。

## (3) 消石灰帯



消石灰帯上を車両が通過することで、タイヤの消毒が可能です。冬季でも消毒薬が凍結する心配が無く、近くに電源や水源が無い場所でも使用可能です。当場では放牧地等に使用しており、散布量は約 1kg/m<sup>2</sup>としています。消石灰帯が薄くなってきたら隨時追加しています(少なくとも1か月に1回の頻度)。消石灰は強アルカリ性のため、マスク・手袋を着用して散布します。また、風で石灰が飛散する恐れがあるので近隣への配慮が必要です。

## 3. 終わりに

車両は、複数の農場間を跨いで出入りする場合が多く、遠く離れた場所にまで病原体を運ぶ恐れがあります。適切に車両消毒を実施することで、家畜の伝染病の侵入やまん延を防ぎましょう。